

真珠湾攻撃 75 周年、南スーダンPKO 駆け付け警護任務付与反対！ 2016・12・8 足立不戦のつどい



重武装した南スーダン政府軍の襲撃現場へ、自衛隊が「駆け付け警護」で出動したら…

12月8日は、日本が無謀な太平洋戦争に突入してから75周年となります。この戦争は、アジア諸国に2000万人、国内でも300万人を超える死者を出し、破滅をもたらしました。その反省をもとに制定された日本国憲法は、「戦争放棄」を宣言し、2度と過ちを繰り返さぬことを誓いました。

ところが安倍自・公政権は憲法解釈を変更し、憲法違反の「戦争法」を強行し、それに基づき、南スーダンPKOに派遣する自衛隊部隊に「駆け付け警護」「駐屯地の共同防衛」などの新たな任務を課そうとしています。これは、自ら「殺し、殺される」戦闘に飛び込んで行くことに他なりません。

太平洋戦争開始75周年の12月8日にあたり、なぜ、旧日本軍は無謀な戦争に突入したのか、また、今日の安倍政権は、憲法を踏み躪ってまでなぜ戦争に飛び込もうとするのか。戦前の日本軍国主義の戦争の歴史や加害の事実などを研究されている、都留文科大学名誉教授の笠原十九司先生の講演から学び、また意見交流で学習を深め、改めて「戦争は許さない」の決意を固めあいましょう。

日時：2016年12月8日(木) 18:30~20:45

会場：東京土建足立支部会館3階会議室 足立区梅島1-2-26 (裏面に地図あり)

講演：「日本軍国主義は、なぜ無謀な戦争に突入したのか？」

安倍政権は、なぜ戦争にとびこもうとするのか？」

講師：笠原十九司さん (都留文科大学名誉教授)

歴史学者。都留文科大学名誉教授。専門は中国近現代史。著書は、「南京事件」(岩波新書)、「海軍の
日中戦争」(平凡社)など多数。つどい終了後、著書のサインセールも予定しています。

**意見交流：参加された方から、「戦争反対」「駆け付け警護反対」などの声を
発言していただきます。**

***参加費は無料です。どなたでも参加できます。**

このつどいは、9条の会足立連絡会・東都協議会9条の会・平和憲法を守る足立の会・北千住法律事務所・新日本婦人の会足立支部・より良い教科書を求める足立の会・足立母親大会連絡会(第1次分)の共催で準備しています。さらに、多くの団体が共催して下さるようお願いいたします。